広報ふながた

4月７日
入学式
（富長小学校）

もくじ
特集「がんばろう 東北」②〜⑨
１年の舵取り「当初予算」⑩〜⑬
まちのわだい ⑭〜⑮
みらいへの手紙 from ふながた ⑱
新企画「こころのビタミン」⑲

2011年
No.626
4

がんばろう東北

人と人をむすびます
心と心をむすびます
夢と希望をむすびます
～「おむすび」5,200個を石巻市へ～

ボランティアや町内会の方の協力により、3月30日～4月5日にかけ、あったかい「おむすび」を握りました。東日本大震災の被災地の１つ石巻市渡波（わたのは）地区へ。石巻新庄高規格道路建設促進期成同盟会のつながりで、最上8市町村合同で実施したものです。

◀このおむすびは、石巻市渡波小学校２年生の男の子の手にも。「ありがとう、すごくおいしいよ。」と話してくれました。

340人のおむすび支援ボランティアの一人
岡崎佳林さん（福寿野）

平成23年3月11日

大雪に見舞われた今年。雪が舞いつもと変わらない昼下がり。カタカタと窓が揺れたと思った次の瞬間、大地は激しく大きな横揺れをしだし、建物はまるでゴムのように左右にねじれるように動き、車がとび跳ねました。

幸いにして、舟形町の地震被害は人的なものには及びませんでした。道路や水道などにも大きな被害がなく、町の形は保たれました。しかし、隣県各地では、予測をはるかに超えた未曾有（みぞう）の惨劇が襲いかかっていたのです。

みんなでやれば、大きな力に

今、私たちにできることは何でしょうか？被災地に出向いてボランティア活動を行なっている方もいますが、舟形町へ避難されている方もたくさんいます。身近な家庭でできる思いやり。子どもにも、大人にも、できることがあります。

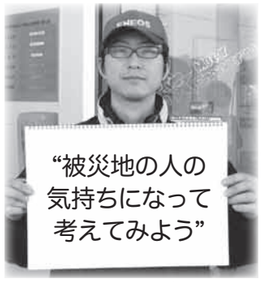
舟形町に住む一人として、山形県に住む一人として、東北に住む一人として、今こそ力を合わせて行動する時。みんなでやれば、大きな力になるはずです。

“今、私にできること”

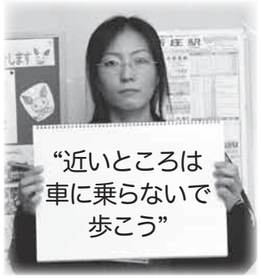
伊藤みどりさん（幅）

伊藤　義範さん（野）

中嶌真由美さん（舟形第３）



佐藤　雄二さん（舟形第４）



田中のぞみさん（福寿野）

西尾　茂さん（長者原）

海藤　和紀さん（沖の原）

野尻　玲菜さん（内山）

支援物資
142件
舟形町災害対策本部受付分
（４月15日現在）

白米、毛布、粉ミルク、衣類、タオルなど5回に分けて被災地へ。町内に避難している方へも。

ボランティア
53名
舟形町社会福祉協議会登録分
（４月15日現在）

おむすび支援や支援物資の受付などを行いました。これからも、町内での支援にご協力を。

義援金
3,357,159円
日赤山形県支部舟形分区受付分
（４月15日現在）

他にも山新愛の事業団などに寄託された方もいらっしゃいます。続けることが大切です。

避難者の受入れ
73名
避難所受入れ分
（４月15日現在）

福島県から避難されている方が多いようです。長期的な支援が必要です。

3月11日　未曾有の震災
その時、私たちは…

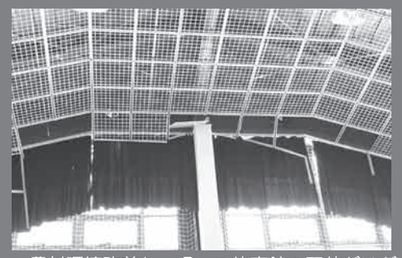
▲12日と13日の朝刊。その後、M9.0と訂正。日本国内観測史上最大。舟形町では震度５弱を観測する。停電のため、少ない情報ながらも甚大な被害であることが分かる。

▲町内会や民生児童委員の方によって災害時要援護者の安否確認が行われた。

▲停電が続く中、ライフライン復旧に向け、夜を徹した作業が続けられた。

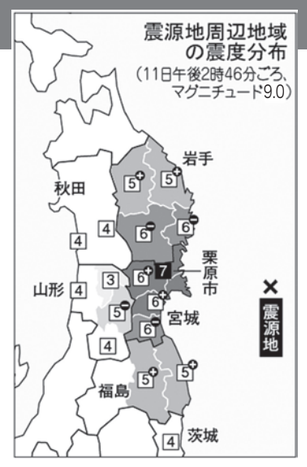
▲地震直後の舟形町役場。庁舎が崩れそうな揺れに外へ避難。

◀停電のため、信号が機能しない。



▲農村環境改善センターの体育館の天井がはがれ落ちた。幸いにもケガ人はなかった。

▶農業施設に被害。舟形マッシュルームの菌舎４棟で、栽培棚が倒壊する。



東日本大震災

平成23年3月11日、午後2時46分ごろ、三陸沖を震源に国内観測史上最大のM（マグニチュード）9.0の地震が発生。津波、火災などにより広範囲で甚大な被害がでています。福島第1原発周辺には、避難指示や屋内退避指示が出されています。また、十分な電力の供給が難しくなっていることから、計画停電が実施されました。

警察庁によると、14日午後7時現在で地震・津波による死者は1万3，498人、警察に届け出があった行方不明者は1万4，734人とのこと。地震発生からもうすぐ1か月になりますが、現在も避難生活を続けている人は18都道県のおよそ2，300の避難所で13万9，000人にのぼっています。一方、建物被害は、全壊や半壊が約7万3，000戸、一部損壊の建物は15万8，000戸を超えました。

～　舟形町の経過　～

3月11日	地震発生（午後２時46分）
	災害対策本部設置
	防災行政無線で町民へ第１報
12日	災害時要援護者等安否確認完了
	水道復旧完了
	電気復旧完了
13日	下水道復旧完了
14日	ごみ収集停止
15日	災害対策本部より１号発行
	舟形若あゆ温泉営業時間縮小
	日赤山形県支部舟形分区義援金受付開始
	東北電力㈱による町内計画停電中止
16日	ごみ収集再開
18日	ボランティア募集開始
	災害対策本部より第２号発行
	町営バス運行減便
	東北電力㈱による町内計画停電中止
19日	避難所入居受入れ開始
20日	町営バス全面運休
21日	支援物資を県の一時預かり所へ
23日	舟形若あゆ温泉休業
	支援物資を県の一時預かり所へ
	ボランティア作業開始
	ＪＲ奥羽本線（山形線）一部復旧
24日	避難所入居者11グループ60名
25日	災害対策本部より第３号発行
29日	被災者支援町民会議開催
30日	石巻市へおむすび支援開始
31日	ＪＲ奥羽本線（山形線）全線復旧
4月 1日	舟形若あゆ温泉営業再開
	被災者支援室を設置
5日	石巻市へおむすび支援終了
	石巻市へ支援物資を運搬
	町営バス運行再開
7日	震度５弱の余震（午後11時32分）
9日	舟形若あゆ温泉の南側法面崩落
8日	災害対策本部より第４号発行
10日	舟形若あゆ温泉休業
11日	石巻市へ支援物資を運搬
12日	法面崩落により松橋川をふさぐ
14日	石巻市へ支援物資を運搬

▲被災者支援町民会議が行われた。石巻市への支援体制を協議。

◀ＪＲ奥羽本線（山形線）が全線不通に。町営バスなどの公共交通機関にも影響が。

▲ガソリンスタンドでの給油を待つ車の渋滞。長い列ができた。

▲町内の商店からカップラーメンが消えた。保存食が品薄に。

▲舟形若あゆ温泉周辺にも大きな被害が。テニスコートの様子。

区　分	件数	被害額（概算）	主な被害状況
人的被害	０件	－	－
家屋被害	０件	－	－
公共施設被害	７件	１億6,250万円	富長小体育館ガラス、長沢小トイレタイル破損・舟形若あゆ温泉法面崩れ
土木被害	５件	810万円	町道舟形太郎線に亀裂・幅配水池施設破損
農林水産施設被害	２件	3,055万円	夏秋いちご栽培ベンチ破損・マッシュルーム菌舎内棚倒壊

被害総額2億円

その時、町では

舟形町でも震度5弱を観測し、その影響で停電が最大で約28時間、断水が約22時間続くなど私たちの生活に多大な影響を与えました。地震発生後直ちに「災害対策本部」を設置。町内全域約1，900世帯で停電したことから、町内2箇所に避難所を設置。情報の収集、パトロールによる被害状況の確認、上下水道の確保、一人暮らし高齢者や災害時要援護者の安否確認にも取り組みました。結果、人的被害や家屋の倒壊などはありませんが、農業施設の被害が確認されています。

しかし、情報提供の唯一の手段「防災無線」は、地震の影響で機能しませんでした。復旧を待ち、余震への注意喚起、断水のお知らせ、被害状況の報告、節水の呼び掛けなどの情報を提供しました。その後、町内全域で停電が解除されたのは12日午後7時ごろでした。

地震発生以降、ガソリンや軽油などの燃料不足により物流が滞って、通勤・通学はもとよりごみ収集にも影響が及びました。

余震も続いていることから、今後も町では見回りや連絡、情報収集などに努めます。また、引き続き、被災地に対する支援に全力を注ぎますので、ご協力をお願いします。

続く、余震

家族でできること、地域でできること

舟形若あゆ温泉
４月７日の余震で施設南側に法面崩落と地滑りが発生。

「震度6」今後も可能性

４月15日現在、気象庁によると、大地震の発生後のM（マグニチュード）５以上の余震は約500回、M７以上のものだけでも５回記録され、同じ海域で繰り返し起きています。次第に余震発生の間隔が延び、規模も小さくなるとしながらも「数ヵ月から半年の間にM７の余震が起きる恐れがある。」と指摘しています。

舟形町地域防災計画では、新庄盆地断層帯で約M6.6～7.1規模の地震が起こる確率は、30年以内0.7～1％。日本の主な活断層の中ではやや高いグループに属しています。ライフライン施設、特に水道は、全区域で供給支障をきたすと想定されています。

備え

大規模災害時は行政も被災してしまいます。消防車や救急車も、物資にも限りがあります。一人ひとりが日頃から地震発生時の行動を意識しておくことで、万が一の時にも混乱を最小限に防ぐことができます。

自宅や家族でできること、地域でできることを考え、住民全員の命が助かる方法を話し合い、災害に備えていきましょう。

家族で確認

災害は、家族が全員一緒のときに発生するとは限りません。日中、それぞれの用事で外出しているときに災害がおきても慌てないように、日頃から約束事を決めるなどして、よく話し合っておくことが大切です。

▶非常時持ち出し品の一例。３日ほど救援物資が届かないことも想定され、非常食や飲料水の準備を。

役割分担を決める
- ●日常の予防の役割と、災害発生時の役割を決めておく。
- ●高齢者や乳幼児などがいる世帯では、担当を決めておく。

危険箇所をチェック
- ●家の内外をチェックして、危険箇所を探す。
- ●危ない箇所が見つかったときは、修理や補修方法について話し合う。

安全な空間を確保
- ●家具などの配置換えをして、家の中に安全なスペースを確保する。
- ●家具などの転倒、落下を防止する方法を決める。

非常持出品のチェック
- ●必要な非常持ち出し品が揃っているか、確認をする。
- ●定期的に、保存食などの保存状態や使用期限を点検し、交換をする。

防災用具などの確認
- ●消火器や救急箱、非常用品の設置場所を確認しておく。
- ●消火器などの使い方を覚えておく。

連絡方法や避難場所の確認をする
- ●家族が離ればなれになった時の連絡方法や避難場所を決めておく。
- ●連絡カードを作り、家族で携帯しておく。

避難する場所

一時避難所は避難者が広域避難場所へ避難する前の中継地点として一時的に集合する場所です。広域避難場所への避難は、町内会などで集団避難する方法が有効。避難が必要な時は、防災無線などでお知らせします。

ただし、火災の状況等により、指定の広域避難場所に移動することが危険な場合には、他の避難場所に向かうなど臨機応変な行動が必要となります。

○一時避難所

野集会センター
幅高齢者コミュニティセンター
長尾公民館
内山地区多目的集会所
長沢地区農村公園
旧長沢保育所
経壇原公民館
大平多目的集会所
紫山農事集会所
沖の原公民館
一の関公民館
舟形観光物産センター
西堀公民館
木友公民館
太折多目的集会所
長者原公民館
富田公民館
福寿野防災ダム管理センター
馬形構造改善センター
堀内出張所
堀内公民館
堀内生活改善センター
洲崎木工クラフト館
実栗屋公民館
横山公民館
真木野公民館
新堀公民館
西又地区多目的集会所
松橋地区多目的集会所
えんじゅ荘
光生園

○広域避難所

生涯学習センター
長沢小学校
舟形小学校
中央公民館
富長小学校
堀内小学校

避難情報の種類	内　　容
避難準備情報	高齢者や子どもなど、避難行動に時間が必要な人が安全に避難するため、早めの避難を促す情報です。
避難勧告	災害が発生する恐れがあり、住民の避難が必要な時に発表する情報です。
避難指示	危険が迫っている時に発表する、避難勧告より強い避難命令です。

地域で助け合って

災害時要援護者対策とは…

この制度は、大地震などの災害に備えて、自力で避難することが困難な方を地域全体で支援するために行うものです。

災害時には、町内会長・民生児童委員・支援者が協力し合い要援護者の避難誘導や安否確認を行います。町は町内会長、民生児童委員と援護の必要な方の名簿を共有し、災害時における安否確認などの支援に備えます。

【隣組による助け合い活動について】

災害発生時には、自らの安全を確保した後、隣組単位で安否確認などを行い、必要に応じ、一時避難場所へ安全な経路で避難してください。安否確認が必要な時は、防災無線などを通じて依頼します。隣組長は、町内会長へ報告し、町内会長は町へ報告してください。電話で連絡ができないときは、可能な限り各町内を巡回しますので、その時に報告ください。

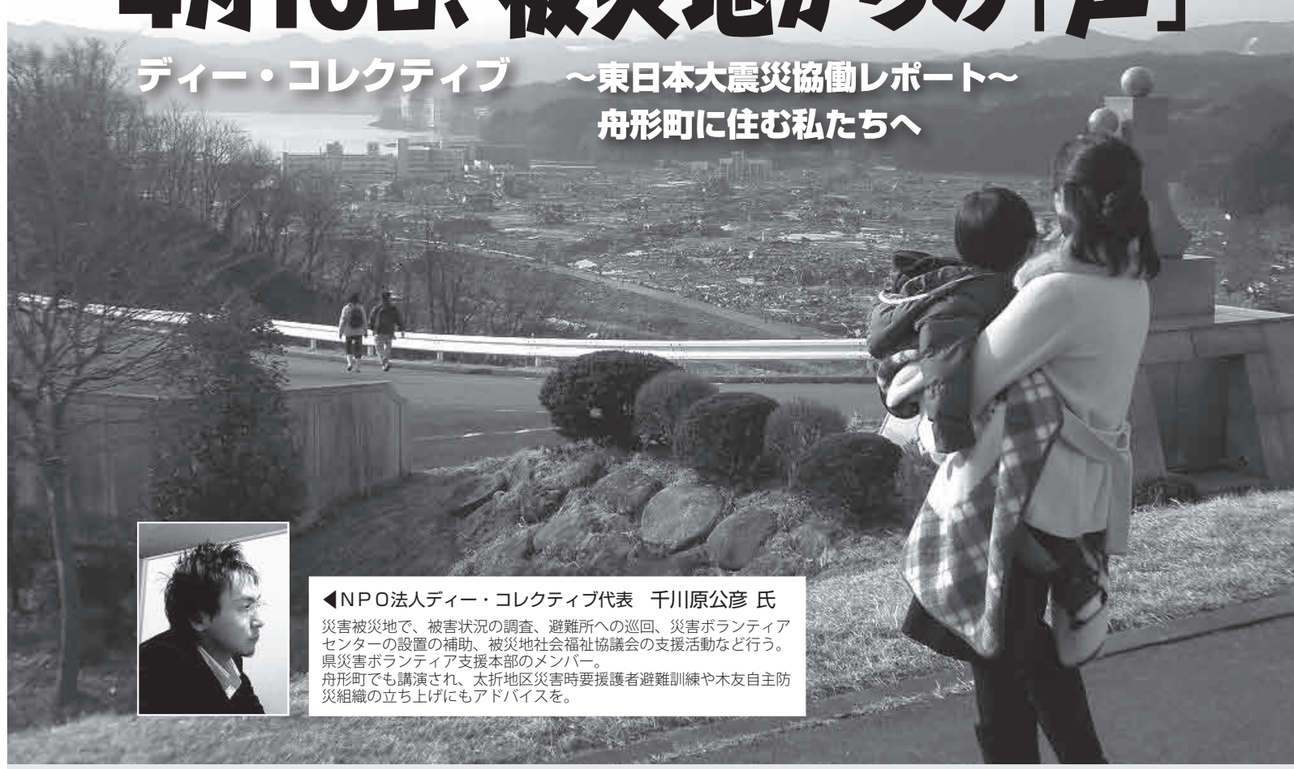
また、自力で避難することが困難な災害時要援護者の方の安否を把握する方法など、日頃からの訓練が重要です。

▼問い合わせ／舟形町災害対策本部
☎（３２）２１１１（内線２３１）

地域住民 → 隣組長 → 町内会長 → 町災害対策本部

4月16日、被災地からの「声」

ディー・コレクティブ　～東日本大震災協働レポート～ 舟形町に住む私たちへ



◀NPO法人ディー・コレクティブ代表　千川原公彦 氏

災害被災地で、被害状況の調査、避難所への巡回、災害ボランティアセンターの設置の補助、被災地社会福祉協議会の支援活動など行う。県災害ボランティア支援本部のメンバー。
舟形町でも講演され、太折地区災害時要援護者避難訓練や木友自主防災組織の立ち上げにもアドバイスを。

東日本大震災の特徴は、「地域の支援者である行政や社会福祉協議会そのものが被災した」ところにあります。

職員の方が亡くなり、建物自体が地震や津波で倒壊し、通常であれば地域の支援の拠点となるはずの災害対策本部や災害ボランティアセンターが機能しなくなりました。いわゆる「公助」が大きな被害を受けたために、人命救助・避難所運営・救援物資の手配などができなくなり、「自助・互助」に大きく委ねられることになりました。

被災地では、ご遺体が横たわる地域で、住民たちが食材を集めて、子どもが大人に混ざりながら炊き出しを行いました。避難所の中では、永眠した住民が入られる棺桶を、同じ地域の皆さんが組み立てていました。また、避難所では、備蓄していた食料も無くなり、津波肺炎など感染症も発生し、せっかく災害から助かった命が「関連死」という形で、失われていきました。また、物資不足が続くために、避難所から物資が盗られたり、住民の車のガラスや給油口を壊されたり、という出来事も多く発生しました。

そのような中で、徐々に、明るい兆しも見えてきました。ボランティアという形で直接被災地に入って活動をしたり、被災地に入らずとも支援金の呼びかけをしたりと、様々な支援活動が展開されてきています。過去10年間の災害現場と異なるのは、行政・社協やNPO以外にも、被災地外の自治体・企業・学校などが多様な支援の取り組みを積極的に展開している、という点にあります。「東日本大震災の支援活動」は、まさに分野や業種、世代を超えて取り組むテーマとなっています。

今まで一度もボランティアをしたことがないという人たちも立ち上がり、全国から大勢被災地に入り、支援活動に参加しています。おそらく、137万人が活動した阪神・淡路大震災以上のボランティアが活動することになるのでは、と思います。

しかしながら、ゴールデンウィークや夏休みを過ぎると、被災地外からのボランティア活動も少なくなるのではと危惧されるところです。まだまだ何年も、外部の支援を被災地は必要としています。そのような時に、隣人である山形県民・舟形町民が大きな存在になると思われます。特に宮城県は、隣接する岩手県・福島県も大きく被災しているため、山形県以外に細やかな支援や寄り添いをできる地域がありません。「私たち山形県民だからできること」。

100人集まれば100通りの支援のアイディアが湧き出てくると思います。ぜひ、その「湧き出た想い」を一つでも多く、「被災者目線」を持って、被災地で形になれば素晴らしいことだと思います。山形県民の出番が、そこにあります。

▼東日本大震災協働レポート／
http://pub.ne.jp/chiga/

東日本大震災に関する生活情報

《耐震診断》

○舟形町木造住宅耐震診断事業

新庄最上耐震事務所協会所属の耐震診断士による耐震診断を無料で受けることができます。

▼**対象住宅**／
・昭和56年5月31日以前に着工の住宅
・在来軸組工法による木造住宅

▼**費用**／自己負担なし

▼**募集戸数**／10戸

○舟形町木造住宅耐震改修工事補助金

舟形町木造住宅耐震診断の結果、上部構造評価1.0未満のものを1.0以上に改修する工事の工事費を補助します。

▼**補助要件**／
・診断の結果、上部構造評価1.0未満のもの
・税などの滞納が無いこと
・町内の法人・個人が施工すること

▼**補助金額**／上限60万円（対象経費の3分の1以内）

▼**募集戸数**／5戸

■**問い合わせ**／舟形町役場地域整備課
☎（32）2111（内線442）

《放射線に関する情報》

○**空気中の放射線量**

山形県で空気中の放射線量を定期的に測定。4月15日午前10時現在の測定数値は山形市で1時間あたり0.055マイクロシーベルトで、人体に影響がない水準です。

■**問い合わせ**／山形県庁健康福祉企画課
☎023（630）2253

○**水道水の放射線量**

水道水については、県衛生研究所などで毎日1回採水し、放射線検査をしています。4月15日の検査では、ヨウ素とセシウムは検出されませんでした。

■**問い合わせ**／山形県食品安全衛生課
☎023（630）2160

《公共施設の状況》

節電のため開館時間を変更していましたが、電力需給の見通しから、5月1日より、当分の間次のとおりとします。
・中央公民館／午後9時まで
・農村環境改善センター／午後9時まで
・生涯学習センター／午後9時まで
・小中学校体育館など／午後9時まで

■**問い合わせ**／舟形町災害対策本部
☎（32）2111（内線231）

《舟形若あゆ温泉の状況》

4月7日の余震の影響で営業できない状況にあり、当分の間休業します。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

■**問い合わせ**／舟形町役場産業振興課
☎（32）2111（内線424）

《中止するイベント》

町が主催する主なイベント等で中止となるイベントは、次のとおりです。
・舟形町春季消防演習

《防災行政無線の戸別受信機》

乾電池はこまめにチェック
・停電時は乾電池を電源としますので、単2乾電池4本を入れてください。
・乾電池は1～2年に1度は交換を。
・1年に1回は電池ぶたを開けて液漏れしていないか確認をしてください。

故障を防ぐために定期的な点検を
・内部にほこりが入らないように、定期的にふき取りを行なってください。
・ボリューム（音量）のつまみを、半年に1度は動かし調整してください。
・テレビやパソコンなど強い電波を発する機器の近くに置かない。

※放送が聞こえないなど故障かなと思ったら、ご連絡ください。

■**問い合わせ**／舟形町役場総務課総務班
☎（32）2111（内線231）

義援金・支援物資の受け付けなどの情報

《ボランティア登録について》

町避難所の食事準備や物資受入れなどのボランティアとして、協力していただける方を引き続き募集します。

■**問い合わせ**／舟形町社会福祉協議会
☎（32）2733

《義援金を受け付けています》

日赤山形県支部舟形分区では、義援金を受け付けています。みなさんのご協力をお願いいたします。

■**問い合わせ**／舟形町社会福祉協議会
☎（32）2733

《支援物資を受け付けています》

水・食料品・生活用品を受け付けています。原則、新品未使用のものを。

なお、支援物資は県を通じた被災地のほか、町避難所でも活用させていただいております。

■**問い合わせ**／舟形町災害対策本部
☎（32）2111（内線231）

町内の避難所開設情報

《避難所開設情報》

避難希望の方は事前にご連絡ください。

▼**避難所**／
・あゆっこ村コテージ
・町営住宅舟形団地

■**問い合わせ**／舟形町被災者支援室
☎（32）2111（内線312）

■**問い合わせ**／
舟形町災害対策本部
☎（32）2111（内線231）
舟形町被災者支援室
☎（32）2111（内線312）

1年の舵取り

～平成23年度舟形町の当初予算と主な事業～

私たちの「舟」が、今年度進むべき方向に舵を切りました。

「出あい・ふれあい・支えあい」の夢コンパス（第6次基本構想）は、目標達成のための事業発展を図る2年目の重要な年となります。

昨年度、舟形町など人口減少が著しい地域に対する支援策である「過疎地域自立促進特別措置法」が改正延長されたことを受け、今年度はこのメリットをソフト・ハード事業の両方に活用しながら、3年ぶりの増加となる積極的な当初予算編成となりました。

また、これに加えて今年度は、平成22年度からの繰越事業となるきめ細かな交付金事業など3億6，38６万円の事業にも取り組んでいく事となりますが、膨らむ予算の一方で、厳しい財政事情と経済情勢などを踏まえ、事務事業の見直し、経費の節減合理化にも引き続き取り組んでいます。

当初予算は、1年間、舟形町で私たちが生活していくためにかかるお金を見積ったものであり、今年の町の方向性を示したものです。

今年度、夢コンパスが指し示す4つの柱ごとの主な事業は次のとおりとなります。

安心して暮らせる住みよいまちづくり

●ヴィーナス定住促進交付金　300万円（単独・新規）
定住促進を目的として、転入者の住宅取得に対して交付します。交付額は土地建物取得費の５％か100万円のいずれか低い額です。

●町道富田中通り線消雪施設整備事業　3,520万円（補助・継続）
町道富田中通り線の散水消雪工事。既存施設の老朽化により能力が低下しているために全面的な改修をします。前年度の繰越事業分を加えると8,040万円になります。

●消防車両格納庫建築事業　715万円（単独・継続）
西堀地区に消防車両を格納する車庫を建築します。４月から西堀地区に舟形町消防団第３分団第22部が新設されました。

●予防接種事業　1,772万円（補助・新規）
子宮頚がんワクチン、小児肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ菌ｂ型による細菌性髄膜炎を予防するヒブワクチンの接種が無料になります。

●定住促進団地造成事業　920万円（繰越）
ひだまりタウン周辺に新たに定住団地の造成を行います。人口の減少に歯止めをかけるとともに、子育て支援の重点事業です。

産業の振興と地域が活性化するまちづくり

●緊急雇用対策事業　5,341万円（補助・継続）
県と連携して雇用創出を行います。それにより、雇用を通じて農商工連携や介護指導員育成なども推進します。

●企業誘致対策事業　66万円（単独・継続）
首都・近畿圏などで企業誘致活動を行います。

●農業振興費事業　6,044万円（補助・新規）
新庄もがみ農業協同組合のねぎ選果場の設備などを整備します。

●創意工夫プロジェクト支援事業　2,383万円（補助・新規）
新庄もがみ農業協同組合のねぎ選果場を建設します。

●水田農業構造改革推進事業補助金　675万円（単独・継続）
町独自の水田農業対策で、地産地消・農地集積・エコエリアの支援を行います。

子育て・健康・教育の充実したまちづくり

●福祉医療費給付事業　3,792万円（補助・継続）
今年7月から子育て医療を拡大し、中学生までの医療費を無料化します。拡大分の費用は651万円です。

●地域密着型複合施設ほなみ増床事業　9,190万円（補助・新規）
地域密着型介護老人福祉施設と小規模多機能型居宅介護事業所の「ほなみ」。介護老人福祉施設に19床を増床します。

●小学校統合準備事業　1,036万円（単独・新規）
統合新小学校の平成25年度開校へ向けた準備に要する経費。不足する教室増築のための設計業務委託料などです。

●ヴィーナスプラン交付金事業　260万円（単独・継続）
小中学生の学力向上などのために特色ある学校運営を支援します。

互助・共有・自立による協働のまちづくり

●地域づくり支援事業　78万円（単独・継続）
地区を対象とした地域づくりを継続しながら、新たに各種地域づくり団体への支援も行い、多面的な地域づくりをサポートします。

●コミュニティー助成事業　450万円（補助・継続）
（財）自治総合センターのコミュニティー助成事業を活用して、地域づくりに必要な施設・設備整備を支援します。

●婚活推進事業　170万円（単独・継続）
もがみ南部商工会舟形事務所に委託し、婚活イベントを実施します。また、結婚資金の融資に対する利子補給を行います。

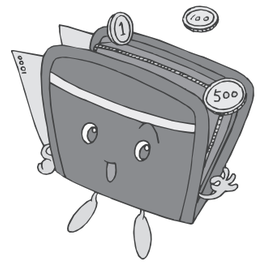
●うど山斎場改修事業　560万円（繰越）
うど山斎場の設備改修工事。火葬炉の改修をします。

▼問い合わせ／舟形町役場総務課財政管財班
☎（３２）２１１１（内線241）

平成23年度当初予算

6,222人の財布の中身

一般会計当初予算 36億2,000万円



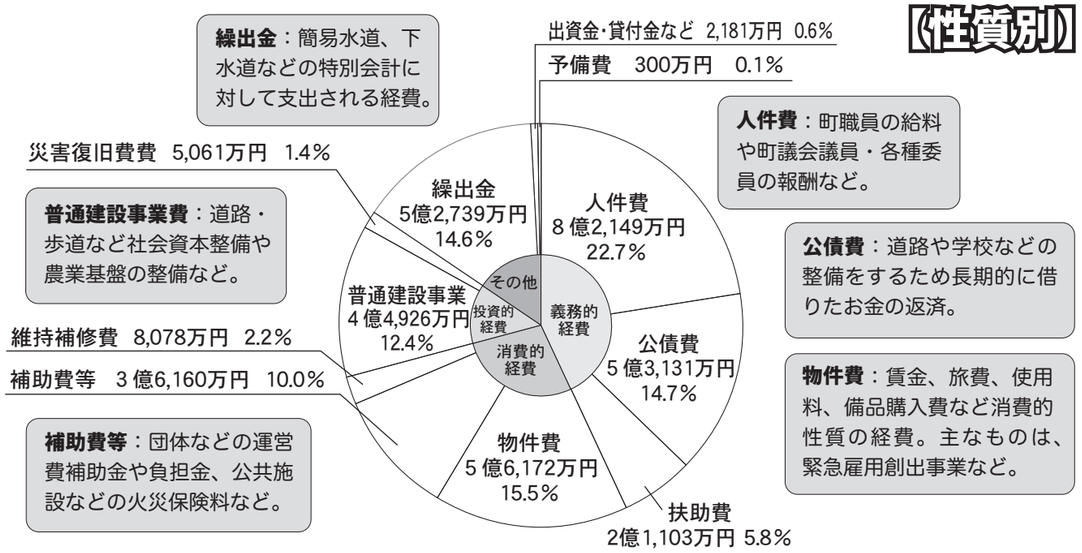
前年度比 3億5,000万円増額（＋10.7%）

歳出

わたしたち１人当たりの予算額（一般会計で）

581,806円

【性質別】



繰出金：簡易水道、下水道などの特別会計に対して支出される経費。

普通建設事業費：道路・歩道など社会資本整備や農業基盤の整備など。

補助費等：団体などの運営費補助金や負担金、公共施設などの火災保険料など。

人件費：町職員の給料や町議会議員・各種委員の報酬など。

公債費：道路や学校などの整備をするため長期的に借りたお金の返済。

物件費：賃金、旅費、使用料、備品購入費など消費的性質の経費。主なものは、緊急雇用創出事業など。

わたしたち1人当たりの【目的別】歳出

町が使うお金で一番多いのは、民生費で21.4%を占めています。障がい者や高齢者、子育てなどの福祉に使うお金で、各種医療保険、介護保険などの町負担分も含まれます。民生費は昨年度に比べ、小中学生の医療費無料化やほなみの増床などで１億1,771万円、わたしたち1人当たり18,918円増えています。

教育費 45,308円

小中学校、体育館などの管理運営や教育振興に使うお金

農林水産費 51,035円

農業、林業などの振興・管理や整備に使うお金

公債費 85,392円

町債（借金）の返済に使うお金

民生費 124,603円

障がい者や高齢者、子育てなどの福祉に使うお金

土木費 87,260円

道路や橋、公園、町営住宅などに使うお金

総務費 89,371円

行政全般の運営管理に使うお金

災害復旧費 9,611円
災害被害の復旧などに使うお金

予備費 482円
緊急な対応が必要な場合のお金

労働費 8,585円

雇用の促進や、勤労者の福祉に使うお金

議会費 13,693円

議会の運営に使うお金

商工費 11,399円

工業や商業、観光の振興に使うお金

消防費 22,795円

消防や救急、消防団の活動などに使うお金

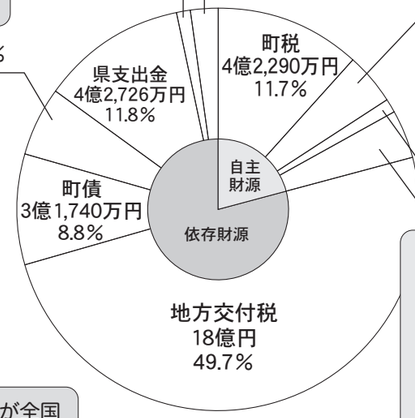
衛生費 32,273円

保健や環境・衛生の向上などに使うお金

歳入

わたしたち１人当たりの町税額

67,968円



県支出金：町が行う事業に対し県からの負担金、補助金。

国庫支出金：町が行う事業に対する国からの負担金、補助金。

町債：道路などの社会資本整備や農業基盤整備などの事業のために借り入れるお金。

地方交付税：国が全国にある市町村の財政力のバランスを取るために配分するお金。

町税：町内の法人や住民の方々に納めてもらう税金。

繰入金：町が積み立てておいたお金から事業を実施する時に取り崩して歳入に入れるお金。

自主財源：町自らの手で確保できる収入のこと。歳入に占める割合は21%。
依存財源：国や県から定められた額が交付されたり、割り当てられたりする収入。舟形町は、歳入に占める町税の割合が少なく、地方交付税などに歳入の多くを依存しています。

特別会計当初予算 20億1,240万円

前年度比 5,000万円増額（2.5%増）

特別会計って？…特定の目的などのために一般会計とは区別して経理している会計です。それぞれの会計で、利用料や保険料などで足りない分のお金は、一般会計から出しています。

特別会計 歳出額

国民健康保険事業会計	後期高齢者医療事業会計	介護保険事業会計
6億8,100万円	6,400万円	6億7,000万円
簡易水道事業会計	農業集落排水事業会計	公共下水道事業会計
1億8,000万円	2億2,740万円	1億9,000万円

※老人保健事業会計はH22年度をもって廃止されました。（前年度比 40万円の減となります。）

新しい出発

わだい①

４月８日、舟形中学校で入学式が行われ、新入生の新しい生活がスタートしました。式の中で西田昭一校長は「この出会いを大切に、校訓の『向上・協力・練磨』の精神と『優』を意識し、笑顔が輝くチーム舟中に。」と歓迎。

新入生を代表して芳賀壱成くんは「今日入学式ができることはすごく幸せ。震災で入学式ができない仲間の分までがんばります。」とあいさつしました。

＜富長小学校入学式＞

＜舟形中学校入学式での合唱の様子＞

また、４月７日には全小学校で入学式が、４月５日には舟形ほほえみ保育園で入園式が行われました。

入学・入園者数

○舟形ほほえみ保育園	３７名
○舟形小学校	２３名
○長沢小学校	１２名
○富長小学校	１０名
○堀内小学校	２名
○舟形中学校	５２名

防火の誓い

わだい②

４月９日、春の火災予防運動に合わせ、防火キャラバンを行いました。消防車両により町内を巡回し、火災の予防を呼びかけました。火災「０」を目指し、みなさんで火の用心に努めましょう。

また、西堀地区に舟形町消防団第3分団第22部が設置されて、初めての防災活動を行いました。

＜平成23年度全国統一防火標語＞

～消したはず　決めつけないで　もう一度～

町内会長が意見を交換

わだい③

４月14日、町内会長会議と町内会長連絡協議会が開催され、町内会長へ委嘱状が手渡されるなどしました。

舟形町連合町内会長の伊藤準悦さん（幅町内会長）は「今、町内会、そして町が一丸となる時です。」と話されました。

また、ワークショップが行われ、「震災時の対応と課題」について意見を交換しました。ある町内会長は、行政に頼るだけでなく、町内会での「備え」が必要と話していました。

石巻市へ見舞金を

わだい④

4月11日、奥山知雄町長が亀山紘石巻市長に見舞金を届けました。舟形町と石巻市は、石巻新庄地域高規格道路建設促進に向けて共に活動を展開するなどしています。「おむすびの支援など、非常にありがたいです。これらもよろしくお願いします。」と亀山市長は話しました。

舟形町は、今後も被災地への支援活動を継続しますので、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

支援の輪

わだい⑤

ホシ美容室では、東日本大震災の影響で町に避難された方を対象にカットの無料サービスを行なっています。「みなさん、舟形町の人は温かいとおっしゃってくれます。うれしいですね。私たちにできることがあるはずです。」と店主の石塚恵美さん。

４月12日には、小国川漁協が焼き鮎を提供。また、16日から、食生活改善推進員の方がボランティアで昼食をつくるなど支援の輪は大きくなっています。

４月12･13日、狂犬病予防注射を実施。すべての犬は毎年１回、予防注射を受けなくてはなりません。今回受けられなかった方のために６月７日に２回目を予定しています。

４月７日、安協舟形支部より児童が安全に登校できるようにと全小学校へ登校班旗が贈られました。通行に不慣れな新入生が加わっています。地域のみなさんの見守り活動もお願いします。

固定資産評価審査委員に押切公直さん（長者原）が４月15日付で任命されました。固定資産評価審査委員会は、固定資産課税台帳に登録された価格についての異議申し立てを審査するなどします。

４月１日付けで伊藤宏さん（舟形第４）が総務大臣から町行政相談委員に委嘱されました。行政機関などの業務に対する要望、意見などの相談を受けます。

４月から堀内駐在所に勤務の多田英明巡査部長です。「分からないことが多いですが、みなさんの安心安全な生活のために頑張ります。」

４月１日付けて、八鍬裕美さん（紫山）が町人権擁護委員に委嘱されました。人権擁護委員とは、基本的人権擁護のための法務大臣委嘱のボランティアです。

舟形町ではホームページを開設しています。中でも「Ｏｈ！Ｎｅｗｎｅｗｓ」は新鮮な情報が満載。
▼舟形町ＨＰ　http://www.town.funagata.yamagata.jp/

タバコは町内で買いましょう。２月のタバコ税は1,185,350円

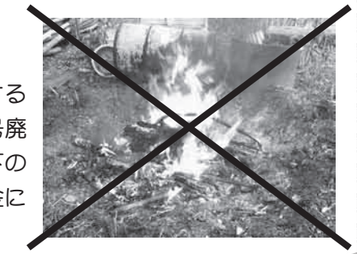
ルールを守ろう！野焼きは、法律で禁止されています

住みよいまちにするためにごみ処理などのルールをもう一度確認してみましょう。

「野焼き」とは、家庭ごみやせん定した枝などを屋外で焼却することをいいます。そのまま積み上げて燃やしたり、穴を掘って燃やしたりするほか、ドラム缶などの簡易な構造の焼却炉を使用して燃やすことも野焼きと同じ扱いになります。

野焼きは、「廃棄物の不適正な処理の防止」「周辺地域の生活環境に与える影響」から原則禁止され、罰則の対象となっています。

近隣に住む方へ迷惑をかけないためにも「野焼き」はやめましょう。



【罰則】

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第二十五条第一項第十五号廃棄物を焼却した者は、五年以下の懲役若しくは千万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する。

ふれあい広場 VARIETY INFORMATION

あなたの声をお寄せ下さい

まちの話題、疑問、質問、提言・意見のほか、会員募集やリサイクル情報（譲りたい、譲ってほしい）、イラストなど何でも結構です。

広報紙上でできるだけ紹介していきたいと思います。

まちづくり課 企画調整班
☎（32）2111（内線313）

5月の納期

◆固定資産税

5月31日（火）まで

忘れずに納税しましょう。

4月24日は、舟形町議会議員選挙の投票日です。忘れずに投票しましょう。

新刊書の紹介

（町中央公民館図書室）

余命ゼロを生きる
佐藤 由美／著

ガンと共に生き、明日も知れない命を見つめながら、最期まで希望を捨てず働き続ける美容師の、愛と感動の手記。

ぴよちゃんのかくれんぼ
いりやま さとし／著

ひよこのぴよちゃんとかくれんぼしてあそびましょう。ちらりと見えているのはだあれかな。ページをめくる楽しさいっぱいのしかけ絵本。

広報３月号「良い歯の子」に誤りがありました。
正しくは次のとおりです。訂正してお詫び申し上げます。

髙山 眞緒（まお）ちゃん（堀 内）

庄司 采永（さえ）ちゃん（太 折）

緑の募金運動についてのお願い

今年度も「緑の募金運動」を行います。この募金運動は緑豊かな国土をつくることを目的に行うものです。全戸による家庭募金でのご協力をお願いします。

▼**募金期間**／4月22日（金）～5月13日（金）
▼**募金の目安**／1戸あたり100円程度
▼**問い合わせ**／舟形町役場産業振興課農政班 ☎（32）2111（内線421）

舟形Jr.ランニングクラブ会員募集

昨年度よりもレベルの高い練習をしていきます。1年間を通して練習に参加し、6月～11月に県内で開催される大会などに参加できる方に限ります。

▼**練習場所**／舟形中学校グラウンド など
▼**年会費**／1，000円
▼**指導者**／舟形町陸上協会
▼**定員**／15名（先着順）

▼**〆切**／5月11日（水）
▼**申込み・問い合わせ**／舟形町B&G海洋センター ☎（32）3501

舟形町スポーツ振興基金優秀選手の大会派遣事業

全国的規模の大会への派遣に激励金を交付します。

▼**基準と激励金額**／国民体育大会：3万円
インターハイ・全日本学生選手権大会：2万円
それらの東北大会：1万円
※他の冠大会（各種目別協会主催の大会）は該当しない。
▼**提出書類**
交付申請書・大会プログラム（大会要項、選手名簿が記載されているもの）・実績報告書
▼**申請・問い合わせ**／舟形町B&G海洋センター ☎（32）3501

お知らせ

舟形町職員異動、町立小中学校教職員異動については広報ふながた「お知らせ版」4月8日号に掲載しております。

舟形文芸ひろば

短歌

きょうの日にわずかの喜び得たことに明日えの希望心にステップ　伊藤 よし子（舟形第一）
訓練棟毎年飾るおひな様母に似ているあのほゝえみが　四季句楽歩　渡部 捷一（光生園）
山も雪も多き過疎なる吾が里は震災のがれ住むを良しとす　木瓜の花の会　佐藤 景雄（沖の原）
放射能の憂い深きも濯ぎ物真青に澄める空見つゝ干す　木瓜の花の会　星川 和子（西 堀）
霜柱解けて櫓田きらめきぬ青鷺一羽点景として　木瓜の花の会　布川 芙美子（横 浜）
自然は不届きと震災の責任負はす術はなけれど　木瓜の花の会　佐藤 和夫（西 堀）

【千風会「北帰行」】

鳥たちよこの震災を見て去るにいかな祈りを捧げてゆかな　千風会　大場 喜代子（長沢第一）
ひよどりは桜芽桃芽啄みて咲かざりし木々をのこして去らむ　千風会　畠山 ひろみ（木 友）
「あっ、グレーの子」北方へ飛べるか心配とつなぐ手強くしきりエール送るグレーの子＝子白鳥の羽毛はグレー色　千風会　吉田 智子（盛岡市）
そろそろと帰行せしあとに残りしはまだ啄ひばみ足らぬ小群かいとしき　千風会　小野 光子（真木野）
雁でさへもののあわれや北帰行二声三声かけあいつつに　千風会　景山 晃佑（仙台市）
「コウ…」と啼く一声たかし団結は人間より深く道なきを翔く　千風会　大場 秀子（長沢第一）
羽づくろひ口づけを終へ絆かためV字の家族幾千里の旅　千風会　沼澤 千鶴子（鶴陽）（舟形第四）

俳句

被災地の任地へ急ぐ彼送る朝　木瓜の花の会　星川 政子（舟形第三）
厚着して地震に備ゆる雪解けの夜　木瓜の花の会　伊藤 良文（舟形第四）
水仙の爪ほど芽出す軒の下　木瓜の花の会　佐藤 孝子（舟形第二）
音たてて雪のとけゆく川向ふ　朝の会　岸 良子（長沢第三）
大地震祈る事のみ春の雪　朝の会　大場 小夜子（内 山）
雪濁り出会ひ別れもありにけり　朝の会　高橋 真澄（長沢第三）
いつ外すまだまだ欲しき春炬燵　朝の会　柏木 伸子（長沢第三）
春彼岸塵一つなき寺の床　朝の会　井上 順子（ 野 ）
思ひ知る電気の力春の地震　朝の会　佐藤 昭子（長沢第一）
ゆっくりと風車はまはる春岬　朝の会　高橋 ふき子（長沢第三）
雪解けて嬉れし輝やく笑顔かな　四季句楽歩　原田 正昭（光生園）
春一番列島ゆする大地震　四季句楽歩　後藤 ふみ（光生園）
初夢はスカイツリーで酒を呑む　四季句楽歩　菊池 忠男（光生園）
雪どけを誰もがのぞむ青い空　四季句楽歩　永沢 幸男（光生園）
雪解けの晴れ間に子猫飛び遊ぶ　四季句楽歩　松田 清美（光生園）
巣立ちの日別れを惜しむなごり雪　四季句楽歩　原田 みよ子（光生園）
巣立つ息子の後姿が頼もしい　四季句楽歩　青柳 真由美（光生園）
ひかる息かた雪わたり青い空　四季句楽歩　星川 明美（光生園）
綿帽子春はまだかと泣いている　四季句楽歩　長澤 友美（光生園）
春大震我が子を思う親心　四季句楽歩　川窪 啓一（光生園）
ゆく雲の遠くにひかり卒園歌　四季句楽歩　叶内 智子（光生園）
ぼんぼりの点りて白き桜かな　四季句楽歩　斉藤 浩樹（光生園）
風晴れや棚田の上の俵雪　四季句楽歩　大場 庄吉（光生園）
春社日無垢の雪道ふみしめて　未来図の会　吉田 明美（舟形第三）
春寒し被災者に思い込め握る　未来図の会　真見 七生（舟形第四）
春寒しねこそぎ掠う大津波　未来図の会　小野 美知子（舟形第四）
残雪の猿羽根街道七曲り　未来図の会　鈴木 谷五郎（西 堀）

総務課　No.311

青いシグナル

「春の交通安全県民運動」

5月11日(水)～20日(金)

新入学児童（園児）の交通事故防止
強調旬間の立哨指導
4月11日　内山地内での様子

・運動の基本

子どもと高齢者の交通事故防止

・運動の重点

○自転車の安全利用の推進
○全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
○飲酒運転の根絶
○道路横断時・交差点における交通事故防止

5月20日は「交通事故ゼロを目指す日」です。

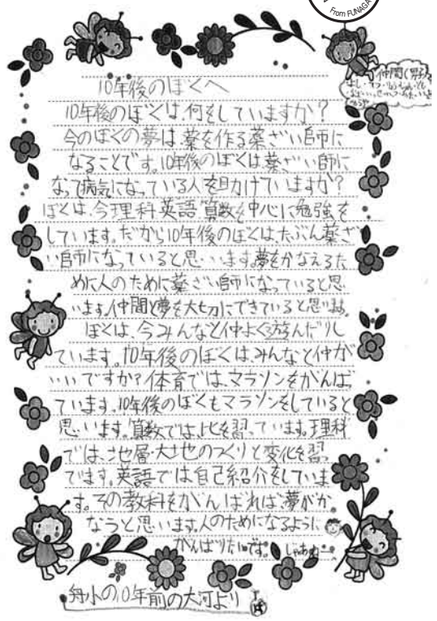
交通災害共済に加入している方へ

交通災害共済に加入している方で、事故で怪我をされた方はいませんか？交通災害共済の請求は、事故の日から１年間です。自転車での事故（転倒など）も対象になります。ご不明な点はご相談ください。

「みらい」への手紙 from ふながた

～仲間と夢を大切にできていると思います～

太田　大河さん（12歳：舟形第４）



「みらい」への手紙を書いてみませんか

▼手　紙：縦25×横17ほどの便箋１枚にボールペンを使って300字程度で書いてください。
▼写　真：本人の映っている写真（L版で縦に撮影）を１枚同封してください。田んぼの真ん中・野球場・小国川などあなたらしい場所で撮影してください。
▼その他：舟形町の「みらい」についてもお書き添えください。
▼宛先・問い合わせ／〒999-4601最上郡舟形町舟形263　舟形町役場まちづくり課企画調整班　☎（３２）２１１１（内線313）

5月11・12日は、仙台市立五橋中学校野外活動です。

今年成人式を迎えました！

磯谷 仁見さん（舟形第3）

◆自分を一言であらわすと……　自由
◆現在の職業は？……　製造業です。楽しく充実した毎日が送れることを心掛けています。
◆好きな言葉は？……　ありがとう、ごめんなさい（ごめんなさいが言えない人は嫌です）
◆尊敬する人は？……　母親、姉
◆趣味は何？……　カラオケ・HIPHOPダンス
◆今、一番欲しいものは？……　リアルにお金と時間です。
◆10年後、どんな舟形町は？…　今と変わらず、自然豊かで地域の方が温かい、魅力ある町に。
◆成人式に向けて一言……　周りの人への感謝の気持ちを忘れず、自分の言動に責任を持って生活をします。

「☆こころのビタミン☆」

その日のストレスはその日に解消する「1日決算主義」というのがあります。毎日、下記の５要素をとることをおすすめします。忙しい時や疲れている時こそ自分の心身を大切にしてみませんか？

●毎日５要素の実践を

運動
・競技スポーツではなく、健康スポーツを。
・1日15分、仕事から離れていい汗をかく習慣がありますか？

労働
・日々の活動に生きがいを感じていますか？
・自分の存在意義を感じていますか？

睡眠
・寝つきがいいこと、目覚めがよいこと。
・十分な睡眠は日中の活動レベルをあげます。

休養
・休養は心の潤滑油。
・仕事の合間や昼休みはしっかり休憩をしてますか？

食事
・朝食は1日の活動源。家族で囲む習慣を。
・３食規則正しく、そして楽しい食事をしてますか？

▼問い合わせ／舟形町役場健康福祉課健康介護班　☎(32) 2111 (内線353)

戸籍の窓

３月２日～４月１日届出分

◆ご結婚おめでとう

長沢第3　高橋　浩太
松　橋　（斉藤）　渚

紫　山　八鍬　光
真室川町　（佐藤）あゆみ

新庄市　菅原　甫
堀　内　（矢口）理子

◆お誕生おめでとう

富田第1　加藤　璃子（りこ）（美徹加）

◆おくやみ申し上げます（世帯主）

野　石川　宮子　74（忠　義）
舟形第3　髙野　勇　78（　勉　）
西　堀　加藤　重信　83（松　男）
富田第1　青木カネエ　85（俊　彦）
実栗屋　森　サキ子　86（秀　人）
新　堀　海藤　吉美　87（吉　一）
えんじゅ荘　富樫　京子　88（本　人）

○掲載を希望しない方は、届出の際に申し出てください。

人口と世帯

3/31（現在）

男　：3,062人（－16）
女　：3,160人（－18）
計　：6,222人（－34）
世帯：1,904世帯（－1）

（　）は前月比

選挙人名簿登録者数（３/2現在）

男性　2,508人
女性　2,715人
計5,223人

「ふるさと納税」にご協力ください。

広報ふながた
Public Relations Funagata
2011 APR no.626

編集・発行／舟形町役場まちづくり課
〒999−4601 山形県最上郡舟形町舟形263
tel.0233(32)2111 fax.0233(32)2117
メールアドレス kikakupr@town.funagata.yamagata.jp
http://www.town.funagata.yamagata.jp

シリーズ　**地域のちから**　その58

地域の子どもは、地域で育て…
～学びをともに～

「せかいにはにんげんがたくさん。でも、きょうだいでひとりだけえくぼがあって、かぞくでひとりだけ…」いつもの椅子に座って読み始めます。じっくりと聞き入る子どもたち、今日はどんなお話だろう…。

3月7日、月1回のお楽しみ「学びをともに」の読み聞かせが行われました。この日は今年度、最後の会ということもあり、児童たちから感謝の花束が贈られました。

富長小学校の学習支援ボランティア「学びをともに」の八鍬喜一さん（富田第一）、叶内志保子さん（長者原）、井上キヌ子さん（福寿野）、加藤谷子さん（富田第二）は、11年前から、読み聞かせを中心に、昔あそびや水木団子づくりをしたりして、子どもたちと学校とともに歩んできました。

「始めた当時は、約80名の子どもたちがいて、賑やかでした。人数は年々少なくなってきましたが、子どもたちの輝きは、今も昔もまったく変わりません。あべこべかもしれませんが、感謝したいのは私たち、元気をもらっているのは私たちです。」と八鍬さん。

今年2月には、教育功労表彰を受賞。その席上で「地域の子どもたちは、地域で育て…それが地域をつくることだと思います。」と加藤さんがあいさつしました。

地域の「家族」に心から感謝です。

★広報ふながたクイズ！

「1名様に若あゆ温泉入浴券（2回分）」プレゼント

空欄に文字を入れてください

私たちの合言葉

「がんばろう●●」

郵便ハガキに、○に入る答えと住所・氏名・電話番号を明記してご応募ください。【〆切：5/13必着】

▼応募先／〒999−4601　舟形町舟形263
舟形町役場　広報ふながたクイズ係
メールからの応募もできます。

舟形若あゆ温泉協賛

▼アドレス／info@town.funagata.yamagata.jp

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

先月の答え…6,164人

表紙の紹介

4月7日、富長小学校で入学式が行われ、10名の元気な富長っ子が増えました。児童たちの期待で膨らんだくす玉が割れると、紙吹雪がきれいに舞い、大きな歓声が会場に響きました。

この紙は再生紙を使用しています